



## Iain Forsyth & Jane Pollard

イアン・フォーシス&ジェーン・ポラード

「YouTubeによって映像の世界がとてつもなく広まったのが面白い」



Movie "Kiss My Neutron", 2007



Movie "Walk With Neutron", 2008

### Iain Forsyth & Jane Pollard

マンチェスター出身のイアン(左)とニューカッセル出身のジェーン(右)という同世代のイギリス人映像ユニット。UKロックを聴いて育った二人の音楽から、常に音楽と結びついた作品を制作。現在も音楽レーベルに勤務しながら作品制作を続ける、業界屈指の注目株。  
[www.iainandjane.com](http://www.iainandjane.com)

今回のアートバーゼル・マイアミビーチで、最新鋭のアーティストを紹介するブース「SUPER NOW」で二階注目を浴びたのが、映像作家の二人組だ。イギリス出身の彼らが発表したのは、その名の通りビートルバンドのメンバー4人が自らメイクアップするシーンを演々と収めた、その名も「Kiss My Neutron」という「風変わりな」映像作品だ。「これは、ジャーヴイス・スコッサーから彼が主宰する「MELTDOWN」というロックフェスの会場で流す映像を頼まれたのがきっかけです。この作品には、私たちが以前手掛けた作品がベースにあります。ひとつはヴィクトリア・マロンチが70年代に制作した「Walk Over」という映像をベースにした「Walking All Day Around」。もうひとつは、ブルース・ナウマンの「Corridor」のパフォーマンスを題材にした「Walk with Neutron」という作品です。私たちが70年代初期の映像作品に惹かれるのは、とても単純だと思っています。カメラの使い方や、モニターとスクリーンの空間使いはシンプルで、視聴者との関係性が実によく表現されています。そこで、自分たちにもどやたらビミョウな映像が作れるのか

を考えた末に、「Kiss My Neutron」に辿り着きました。この作品はある種、ジョークな印象が強いけど、あくまでナウマンの「At Myself」のように美しく堂々としていて、動きはあるけどとてもスローで独特な映像にしたかったんです(ジェーン)

過去の産物から得たアイデアをツイストさせた独創的な映像は、ジャーヴイスの他にも「マクドウェイクやモービー」など、音楽シーンの重鎮たちも魅了している。そんな彼らが名声を高める背景には、自分たちの作品をYouTubeやウェブサイトでなどで情しげもなく公開していることと密接な関係があると話してくれた。

「YouTubeは無罪に再現されてしまふので、本来は価値を持ち続けたいし、理解されたい」と思う。でも、その方々、YouTubeのムーブメントなどで世界中の若者たちによってどんどん映像の世界が切り開かれているのはすごく面白いですね(イアン)

フリーサイトというメディアの発達にあえて乗じた彼らのクリエイティブなアイが、今の時代に響くハイエンドなアートの形を象徴しているのかもしれない。